

# 地方経済情報 Weekly No.417

## ZEH 普及促進に向けたアクションプランが策定されました

### 1. 熊本県は「第2次熊本県総合エネルギー計画」を推進中

熊本県は2019年12月に「2050年カーボンゼロ」を宣言しています。2020年12月に策定した「第2次熊本県総合エネルギー計画」の中では、太陽光発電設備等を備えた自立分散型の再エネシステムの増加や、ZEH※に代表される建築物の省エネ化を目指しています。

※ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)：快適な環境を保ちながら、住宅の「高断熱・高气密化」、「省エネ」、太陽光発電等による「創エネ」によって、年間で消費する住宅のエネルギー量が正味(ネット)で概ねゼロ以下となる住宅。

### 2. ZEHのメリットと課題

ZEHには、「暑さ寒さに耐える快適な室内空間」、「光熱費の削減」、「災害時の非常用電源確保」などの様々なメリットがあり、国の補助金制度などもあります。国の補助金利用件数の推移をみると、県内では2018年度から2022年度の5年間で467件の利用があり、累計では714件となっています(図表)。

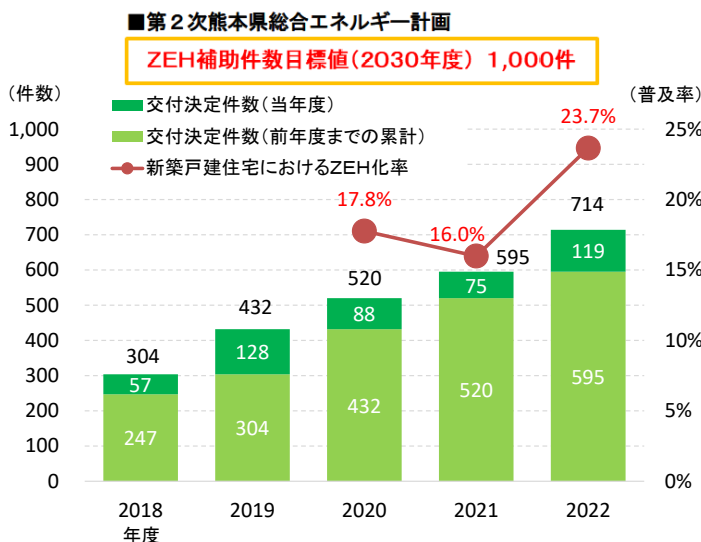
一方で、ZEHのメリットが消費者に上手く伝わっていないことや、メリットを享受するための建築コストが上がることによる予算面の事情等で断念する人も少なくないようです。

### 3. 「くまもとの住宅へのZEH普及促進アクションプラン」を策定

そのような状況下、くまもと小型・自家消費型再エネ施設等普及促進協議会(熊本県主催)は「くまもとの住宅へのZEH普及促進アクションプラン」を取りまとめ、2024年3月に県のホームページで公表しました。この中には「普及手法」、「ファイナンス」、「広報」の3つの切り口で4つの具体的なアクションが盛り込まれています。

アクションプランを理解し、事業者や自治体等が連携を図りながら、ZEHの普及促進に向けた取り組みを進めていくことが、県内のカーボンゼロの実現にも寄与すると考えます。

〔図表〕 県内新築戸建のZEH交付決定件数及びZEH化率の推移



くまもとの住宅へのZEH普及促進アクションプラン



アクションプランの詳細は上記のQRコードからご覧いただけます